

彫物大工「波の伊八」が20代に作った彫刻で飾られた門
 こうみょう じ やく い もん かえるまた りき し ぞう
 光明寺薬医門 臺股「力士像」
 こうみょう じ やく い もん き ばな し し ぼ たん
 光明寺薬医門 木鼻「獅子と牡丹」
 たけ し い はちろうのぶよし
 (武志伊八郎信由関連作品)



光明寺の薬医門の臺股という部材として取り付けられた力士の彫刻です。

門上部中央に力士、その左右に木鼻の獅子・牡丹が配置されています。力士像の背面に、「武志伊八郎信由」こと、初代伊八の名が確認され、27歳以前の作であることが判

明しています。力士の力強い躍動感が表現され、彫刻技術の成長著しい20代中頃の伊八の作風を示すものとして貴重です。



薬医門の左右の主柱に木鼻として取り付けられた獅子と牡丹の一对の彫刻です。初代伊八の名は確認されていませんが、力士像と作風・様式、木材の風化度合いの共通性から、初代伊八の作品群であることが想定できます。

 県登録有形文化財：彫刻
 登録年月日：令和7年2月26日
 所在地：木更津市中央1-1460-1
 所有者：宗教法人 光明寺
 員数：1点 1対
 公開・非公開の別：公開
